



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで
拓く町 伸びる町

- 〈特集〉 40歳からの健康を考える… 2～5
- 第8回町議会…………… 6・7
- 58年度町の家計簿…………… 8・9
- 全日本ジャージ牛共進会で名誉賞……10



広報

「体育の日」親子で体力づくりを

文明がすすみ、からだを動かすことが
少なくなってきました。とくに最近子ども
の体力のなさが指摘され、それも都会よりむしろ田
舎に軟弱な子どもが多いとされています。10月10日は体育
の日。こうした現実を直視し、子どもの、そして自らのための体
力づくりに取り組んでいきたいものです。(写真・みどり保育園運動会)

10月

いがしゆり

No.355

題字 / 佐々木青洋氏 (東由利町出身)



10月10日から16日までの1週間は「40歳からの健康週間」です。

今年から始まるこの週間は、壮年期からの健康づくりと成人病予防のための週間です。

老後の準備は40代からといわれますが、これは経済面に限ったことではありません。健康についても、老後への備えが必要です。

かけがえのない財産、健康を失わないために、40代からの健康について考えてみることにしましょう。

40歳からの病気 成人病

成人病は40歳ごろから急に増えます。働きざかりの一家の大黒柱である人たちに多発する傾向があり、大きな社会問題ともなっています。

この成人病の主なもの、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病で、本町の過去5年間の死亡原因の約7割を占めています。

自信ありますか？

健康づくりは食生活から

成人病は、その8割までが食生活を中心とする日常の慣習に起因するといわれます。つまり、長い間の食生活の積み重ねが成人病となつてあらわれてくるわけです。いままでは若さで保つてきたからだも、中年になると少しずつ衰え、いつ成人病になるかわからない状態にもなります。

食生活は健康の基本です。自分の日常生活をいま一度チェックしてみましょう。

食生活をチェック

「はい」が9〜10なら理想的。7〜8はまあまあ、6以下は不合格です。

- ①毎日、朝食をとっていますか。
- ②毎日、にんじんやほうれん草など、緑黄野菜を食べますか。
- ③毎日、果物を食べますか。
- ④毎日、玉ねぎやキャベツなど、淡色野菜を食べますか。

- ⑤毎日、肉か魚、または卵を食べますか。
- ⑥毎日、牛乳を飲みますか。
- ⑦納豆や豆腐など、週に3回以上食べますか。
- ⑧油を使った料理を1日1回は食べますか。
- ⑨こんぶ、わかめ、のりなどの海藻を週に3回以上食べますか。
- ⑩いも類を週に3回以上食べますか。

とってますか、食物繊維

食物の繊維は、消化されずに排出されるだけで、栄養的には無用のものとこれまで考えられてきました。ところが最近の研究で、こ

れはからだの健康を保つ上で無くてはならないものであることが分つてきました。

繊維は栄養にはなりませんが、食物に含まれている有害物を吸収し、排便を促す働きがあります。

また、血液中のコレステロールの濃度を調節する働きがあり、動脈硬化や高血圧の予防、治療のほか糖尿病にも効果があります。玄米、さつまいも、ごぼう、も



野菜をうんと食べよう

野菜にはビタミンやミネラル、繊維などが豊富に含まれ、欠かすことのできない食品です。特に、前で述べた繊維分をとるには野菜が一番です。

野菜は、その栄養成分によって緑黄色野菜と淡色野菜に分けられます。緑黄色野菜には、体内でビタミンAとなるカロチンのほか、ビタミンBやC、カルシウムや鉄分も大量に含まれています。ほうれん草、春菊、にら、パセリ、かぼちゃなどがこれです。

一方、淡色野菜は、ビタミンC、カルシウム、ビタミンB₂、ミネラ



だいじょうぶですか —— 血圧

本町の病気の特徴として高血圧症があげられますが、高血圧は成人病を誘発させる原因にもなります。

血圧には個人差があり、からだの調子、精神状態、環境によって変動しますが、普通で最大血圧が139ミリ以下、最小血圧が89ミリ以下なっています。したがって何日か繰り返し測り、自分の血圧値を知っておくことが大切です。

高血圧の人は、休息、睡眠を十分にとり、栄養の偏りや運動不足を避け、食塩を控えます。軽い高血圧なら、こうした日常生活上の注意だけで病気の悪化を防げます。

受けていますか —— 健康診断

自覚症状のある病気のほとんどは、急性の病気です。慢性の病気で自覚症状がある場合は、その病気がかなり悪化していることを示しているわけです。

したがって慢性の病気は、悪化するまでわからないということにもなります。自覚症状がなければ、ふつう自分が病気だと思えないものです。

成人病を中心とする慢性の病気は、初めのうち、ほとんど自覚症状がありません。成人病がこわい理由は、ここなのです。

中年になったら、年に1回は必ず健康診断を受けるようにしましょう。

“健康、あなたは”



ル、繊維分を含んでいます。白菜、キャベツ、ごぼうなどがこれです。野菜類の大人1日の必要量は、300gとされていますが、そのうちの半分は緑黄色野菜をとるよううに心掛けましょう。

魚も食べて

魚や鶏鳥の脂肪は、血液中のコレステロールを下げる作用があります。魚は牛、豚肉なみの20倍ものたん白質を含み、アミノ酸のバランスもよく、栄養価も肉と同じ

くらいあります。

また、背の青い魚やウナギの脂肪には血栓を防ぐ物質が含まれており、心筋硬塞や脳硬塞を予防したり、高血圧にも効果があります。しかし、魚の脂肪は体内で酸化されやすく、動脈硬化の一因とも



なりかねないので、牛乳やほうれん草などのビタミンB₂や、ビタミンC、Eを充分とることが大切です。

牛乳・海草は 栄養ありますよ

牛乳1本(200cc)には、日本人1人が1日当りに必要とする栄養のうち、カルシウム約4割、ビタミンB₂約4割、ビタミンA約4割、良質のタンパク質約4割が含まれているなど、栄養価の高い食品です。海草はビタミンとミネラルの宝庫で、体内の新陳代謝をさかんにし、動脈硬化の予防ともなり、成人病予防に効果があります。

このように、健康なからだを維持していくためには、いくつかの食品をバランスよく、しかも欠かさずで食べることが必要です。このことを再確認し、健全な食生活をしていただきたいと思います。

- 食生活で健康つくろう
- ① ごはんは偏らないように
 - ② おかずは十分に新鮮な野菜、果物、海藻類をたっぷり
 - ③ 魚、大豆、大豆製品を毎日食卓に
 - ④ 牛乳はできるだけ多く動物性脂肪をひかえ、植物油を豊富に
 - ⑤ 塩からいものはできるだけひかえる
 - ⑥ 食べ過ぎないよう、腹8分でおさえる
 - ⑦

世の中が便利になり、体を動かすことが少なくなりまし
た。このため現代人は運動不足におち入り、成人病の発生
を導いています。

運動不足は動脈硬化を促進したり、心臓を弱めたり、筋
肉や血管をもろくしたりします。したがって、毎日なんら
かの形でからだを動かすことが、老化を防ぎ、成人病から
身を守る方法なのです。

が強化され、成人病予防に役立つ
のです。

このくらいは
必要です

運動をすることによって、体内のたくさん酸素が消耗され、これを補おうとして肺が活発に働き、空気中の酸素をとりこみ血液に送ります。この血液を心臓が力強く鼓動して血管のすみずみまで送り届けます。

健康を保つためには1日どのくらい運動をすればよいのでしょうか。

どんな運動がいいの？

う仕事以外に1日2000から3000^キカロリーの運動量が必要だといわれています。1000^キカロリーの運動量とは、体内のエネルギーを1000^キカロリー消費する運動のことで、そのための運動量の目安は次のとおりです。

疲労は

いけません

バランスのよい食生活、適度の運動に合わせて大切なことは、休養を十分とることです。

休養が不十分で毎日の疲れが積み重ねられると、からだの抵抗力が衰え、病気にかかりやすくなります。1日の疲れは、睡眠で回復させ、健康で長生きのできる生活をしていきましょう。

健康体操

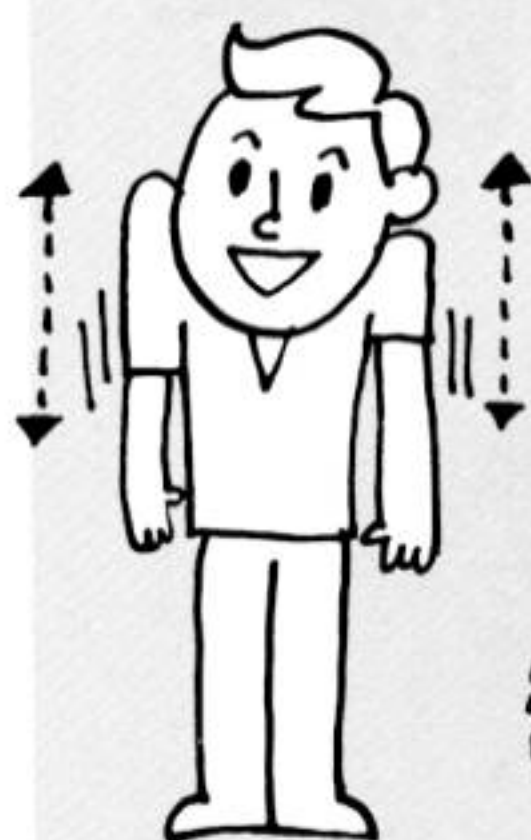
1
日
1
回



①深呼吸



②両足まげ



③肩の上げ下げ



④首まわし



⑤手首ふり

健康点検

こんなことがあったら
医師や保健婦に相談
してみましょう



愛の献血ありがとう

高橋 虔一 石渡 博澄 嶽石 幹一
 石渡 博一 遠藤 利彦 石渡 洋子
 小笠原キツ子 高橋美栄子 小野 肇
 工藤 正栄 阿部 弘章 高橋 重保
 小松 秀穂 小松 長敬 三浦 良男
 畠山 安弘 小野 明春 佐藤 信悦
 小松 光男 伊藤 昭一 伊東 健市
 佐藤 孝悦 嶽石 文弥 池部 正晃
 小松 達也 小松 修一 柴田 和尋

役場 前 (33人)

武田 玲子 高橋 政一 畑山 寅松
 工藤 太一 佐々木日出夫 浅田 誠
 佐々木正輝 遠藤トキヨ 佐々木昌之助
 畠山 基保 梅津 栄一 遠藤美智子
 遠藤百合子 畑山美喜子 遠藤テツ子
 伊東ハツ子 小野 進 千葉 誠二
 鈴木 博 小松 愛子 畑山 作喜

大琴診療所前 (21人) (敬称略)

9月5日、県の移動献血車「あかつき号」が来町、町内4か所で次の68人の方々から尊い血液をいただくことができました。ありがとうございました。

玉米支所前 (5人)

遠藤 誠功 小野 孝悦 遠藤喜栄子
 榎野寿保子 小野 貞男 守屋 正

蔵支所前 (9人)

高橋 富男 小松 正雄 小松やえ子
 長谷山 勇子 佐藤 賢

工藤 倫子 阿部 久 小松 清男
 阿部 幸悦 小野 夏男 遠藤 直志
 阿部 善孝 小松 育子 小野 節子

なお、今回献血された方のうち、20回以上献血されている方が10人おりました(太字)。このうち、前回(5月21日)紹介した人を除いて、次の方をご紹介します。

小野夏男さん(蔵) 嶽石文弥さん(五海保)



20回



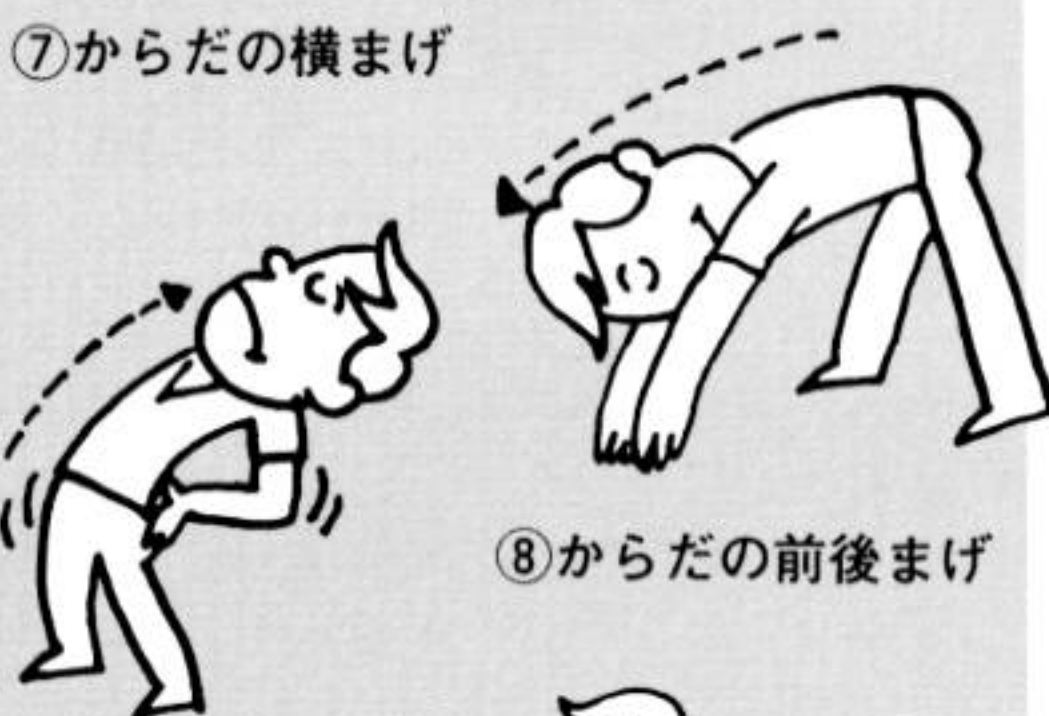
21回

ふだん運動していない人や、筋肉に片寄りのある仕事をしている人など、1日に1回、下図の体操をしてみてください。血行がよくなり気分もスッキリします。

⑥胸そらし



⑦からだの横まげ



⑧からだの前後まげ



⑨ひざのまげのばし



⑩深呼吸



元気ですか
 保健婦です

③

本町の胃精密検査率は、郡内平均83・4%に比較し、73・3%と低くなっています。

精検対象の方で、9月中旬に受けなかつた方には、家庭訪問を予定しています。要精検の判定をうけると、即、病気ののでは?と考えがちですが、胃カメラは、レントゲン線透視ではつきりしたことがわからないために、専門医が胃粘膜の表情(色や形など)を視るために行われるものです。

今年、1,338人(33・6%)の受診で190人(14・2%)が精検対象となっています。

電話での確認によると、仕事の都合などにより受診していない方もいましたが、家族がいくら勧めても「自分は症状がないから大丈夫」と行かない主婦もあり、家族

あなたの胃は大丈夫ですか

の健康をあずかる立場でありながら、理解不足に意外な感じを受けました。それとは反対に、すぐに受けるという返事をなさった方から「今帰ったところです。大丈夫でした」との連絡は、大きな喜びです。胃カメラを飲むことによる一時的な苦痛と病気による継続的な心身の苦痛とではどちらを選ぶでしょうか?

ある愛育班員さんは、「自分が病気をしてみても、早期発見、早期治療の重要性を体得し、自信をもって呼びかけています」と。笑顔で話してくださいました。なにげなく過ごしている暮らしの中で、お互いに声をかけ合い話し合いを深めることにより、健康への意識も高まるものと思います。

「何回通知が来たって、まさか縄で引っぱっても行かないだろうから絶対受けない」。というがんこな考えに心当たりの方はありませんか?

人間40歳過ぎたら、最低年1回は検診を受けて、翌年の検診まで安心して働きたいものです。(保健婦・伊東志津子)



58年度各会計決算を認定

第8回
町議会

改選後初の定例会



決算審査を主として行われた、9月定例議会

第8回町議会定例会は、9月13日に招集され、会期を9日間と決めたあと町長が行政報告をし、続いて5議員から一般質問が行われました。この後、昭和58年度各会計決算の認定のほか、条例の改正4件、財産の取得1件、災害復旧にかかる事業施行等2件を上程、決算の認定案を各常任委員会へ付託したほかは、いずれも原案どおり可決しました。本会議2日目の14日には、昭和59年度各会計補正予算について審議、原案どおり可決しました。

最終日の21日には、教育委員任命の同意等3案件を上程、いずれも可決、同意したあと、総務財政、教育民生、産業建設の各常任委員長が、付託されていた事件について審査結果を報告、いずれも採択と決定、閉会しました。

一般質問では、小野議員が昭和60年度の国に対する予算要求について等8項目、加藤議員が地場産業の振興について等2項目、小松(豊)議員が国の行革と町の行革について等4項目、長沼議員が給与の改正等4項目、遠藤(正)議員が特別養護老人ホームの建設等4項目について質問、町長がそれぞれにつ

いて答弁しました。

質問の内容と答弁については、町議会が後日発行する「議会だより」をご覧ください。

水道料金の改正 などを可決

今議会で可決された主なことがらは次のとおりです。

▼東由利簡易水道の料金改正
水道拡張整備事業の完成に伴い、今後の施設の適正な管理と健全な経営のため、東由利簡易水道料金を次のように改正した。

超加料金 (1㎡ごと)	基本料金 (10㎡まで)	
50円 ↓ 200円	1,000円 ↓ 2,000円	家庭用
70円 ↓ 250円	1,000円 ↓ 2,500円	団体用
70円 ↓ 250円	1,000円 ↓ 2,500円	営業用

臨時用は1㎡ごと150円が300円となった。

▼町民税の所得割の税率改正等
地方税法の一部改正に伴い、町民税所得割税率の一部を改正した。

▼奨学資金貸付基金条例の改正
従来の高校生月額2千円を7千円に引き上げるほか、新たに大学生にも月額1万5千円の貸し付けをすることにした。

▼永慶保育園の入所定数変更
現行定数110人を120人に

変更することにした。

▼高瀬小のスクールバスを更新
老朽化した高瀬小スクールバスを更新することにした。

取得金額は、770万円。購入先は太平興業(株)秋田支店(秋田市)。

▼融雪による災害復旧事業の実施と、事業経費の賦課徴収の設定
今年4月に発生した、智者鶴地区頭首工の決壊等7か所の災害復旧工事を3か年継続で実施することと決定。また、この事業経費の賦課基準を、関係受益者の受益地地積割とすること等を決定した。

▼教育委員の任命について
任期満了に伴う教育委員に小松昌樹氏(61歳・八日町)を再任した。

▼選挙管理委員会委員と補充員の選挙について
任期満了に伴い指名推せんの結果、全委員を再選、また補充員については新人2名が当選した。

とも考えられるので、今以上の効率的な財政運営を。

▼産業育成について
誘致企業については今後も十分な協力体制をとり、地場産業については新しい素材の開発を含め、長期的な立場の指導援助を。

▼観光について
長期的構想ですすめ、施設整備については全体的な調和を。

▼事業関係について
各事業(59年度)が大幅に遅れているので今後の対応に考慮を。

▼町有財産の利用について
西山(田子の沢)の町有地の有効利用に積極的な取り組みを。

決算
審査

堅実な財政運営を評価

総務財政委員長報告

議会最終日には遠藤(治)総務財政委員長が、付託されていた各会計歳入歳出決算審査の結果について「きびしい財政状況にもかかわらず、一般会計において

は歳入101・6億、歳出、97・7億と、堅実な財政運営であった。特に昭和58年度においては高瀬小建築、水道拡張整備事業、更に町民待望の企業誘致等、町当局の努力を評価する。今後

も健全財政を目指し、住民の要望にこたえる行政運営を望む」と

総務財政委員会

▼財政運営について
歳出決算に占める公債費の比率が今後、県の指導基準を越えるこ

行政報告

今議会定例会における町長の
行政報告の概要は次のとおり

〔出羽丘陵開発事業の状況〕

農用地開発公団により進められて
いる同事業の今年度分工事は、
23区の発注率で遅れをみせている。
工事進捗状況は、更田団地が60・
9区播種。大森団地は79・3区造
成、同幹線道路98・8区。荒山団
地の造成及び播種は68・8区……
で、今後、荒山団地道路支線、板
戸団地草地造成、善徳と強清水団
地の幹線道路の工事発注を予定。

〔第3期山村振興計画事業〕

松柴、深山、須郷、袖山、土場
沢、大吹川合わせて32・2区の暗
渠排水工事を、稲刈終了後に着手
する予定。また、来年度予定の町
道坪倉線の改良整備工事は、関係
住民との話し合い等の準備作業を
進めている。

〔建設事業発注状況〕

工事発注率は、町単独事業が47
・5区、補助事業で60・5区と、

全般的には計画どおり進捗してい
るが、用地関係で遅れているもの
もある。県営の道路整備事業では
2千2百万円の補助金が追加され、
追加工事発注が行われる。

〔特別養護老人ホームの建設〕

建設予定地は6月定例会議会で採
択されている「蔵小学校跡地に建
設してほしい」の陳情の線にした
がい検討を急いでいる。明年度に
県が建設町村の最終発表を行い次
第、本格的な作業に入りたい。

〔国道107号線の整備改良〕

大琴工区の着工を要望していた
ところ県が受け入れ、国へ計画書
を提出する方針となった。
60年度に調査費を計上し、61年
度の着工を目ざし国へ陳情を重ね
ていきたい。

なお、町長の述べた行政報告で、
別途掲載文と重複する内容につい
ては省略させていただきました。

教育民生委員会

▼老人居室整備貸付金について

今後利用者の増大も考えられ
るので、償還を考慮した貸付を。

▼火葬場の環境整備について

未舗装部分の舗装と、周辺の
美化及び、門柱の「村」を「町」
に。

▼中学校教材の格納について

理科実験用薬品が放置状態な
ので、格納できる設備を。

▼町民グラウンドの利用につ

いて
規則正しい利用を。

▼「有隣館」の運営について

冷暖房の効率的利用で、経費
の削減を。

産業建設委員会

▼集会施設の管理運営等について

八塩館、高瀬館、克雪センタ
ーなど一部を町費で運営してい

る施設の管理を、一定期間後、地
域に移管することの検討を。
また、老方、館合、袖山地区に
農村総合整備モデル事業で建設が
予定されている施設の早期実現を。

▼補助金の見直しについて

財政ひっ迫の現状から、継続的
に交付している各種団体や共同施
設等への補助金を見直し、60年度
予算の編成では十分な検討を。

▼陳情の取扱いについて

議会で採択された陳情は、その
趣意を尊重し、可能な限り早期実
現を。

▼出稼家全就労集会のあり方につ

いて
これまで東京で行ない成果をお

違反建築防止週間

10/11
～
10/17

さめてきているが、出稼者すべ
てが満足するものでないので、
その改善、合理化の検討を。

道路補装修復工事や量水器の購入
等経費 6,468千円を追加、歳入歳出
額がそれぞれ 348,939千円となった。
玉米財産区特別会計では、大吹
川、袖山両会館の整備費補助及び
松柴地区水道施設利用組合への補
助分を一般会計へ繰り出すため、
6,218千円を追加、歳入歳出額が
それぞれ、10,270千円となった。

道路工事発注情報

(%まで発注分)

▶ 県単局部改良工事	・施工場所 石 高 ・工事期間 8/11～10/4 ・契約金額 3,800千円 ・施行業者 株大沼組
▶ 河川工作物応急工事	・施工場所 島 ・工事期間 8/11～12/20 ・契約金額 18,440千円 ・施行業者 株大沼組
▶ 仁賀保矢島館合線改良工事	・施工場所 畑 中 ・工事期間 9/21～60年 1/4 ・契約金額 15,700千円 ・施行業者 株大沼組
▶ 県単消融雪施設整備工事	・施工場所 蔵 ・工事期間 9/21～12/15 ・契約金額 15,650千円 ・施行業者 有柳沢建設

不審に思ったら声をかけるか110番
全国防犯運動実施中



主 補 正 予 算

一般会計予算に 182,716千円が
追加され、歳入歳出額がそれぞれ、
2,285,958千円となった。歳出補
正予算の主なものは次のとおり。
▶ 融雪により被害を受けた智者
鶴頭首工等の復旧工事に45,000千円。
▶ 集中豪雨により被害を受けた
大台地区農道の復旧工事に15,954
千円。同災害根小屋線ほか3路線
16か所の復旧工事に14,626千円。
同災害十二の前川ほか4か所の河
川復旧工事に35,486千円。その他
道路の補修工事に7,240千円。
▶ 大吹川、袖山両会館の整備及
び松柴地区水道施設利用組合へ補
助金として 6,218千円。
▶ 干ばつによる牧草地の被害に
補助として900千円。
▶ 目タダレ地区の県単事業に補

助として800千円。
▶ 大台と石高地区の農道整備費
として4,916千円。
▶ 石滝線と中の沢線などの道路
工事費決定による減額 3,844千円。
▶ ポツメキ線と軽井沢1号線の
追加工事に2,650千円。
▶ 松沢川砂防ダム建設による善
徳線の道路付替工事に25,560千円。
▶ 坪倉線の測量設計委託料とし
て5,320千円。
▶ 消防施設の充実のため、消火
栓の設置などに2,120千円。
▶ 奨学資金貸付条例の改正によ
る基金の追加990千円。
▶ 県が行なう小松耕輔顕彰事業
の協賛費として585千円。
簡易水道事業特別会計では、水
道拡張整備工事の完成にともない

収支は 9,163 万円の黒字 22億7,423万円

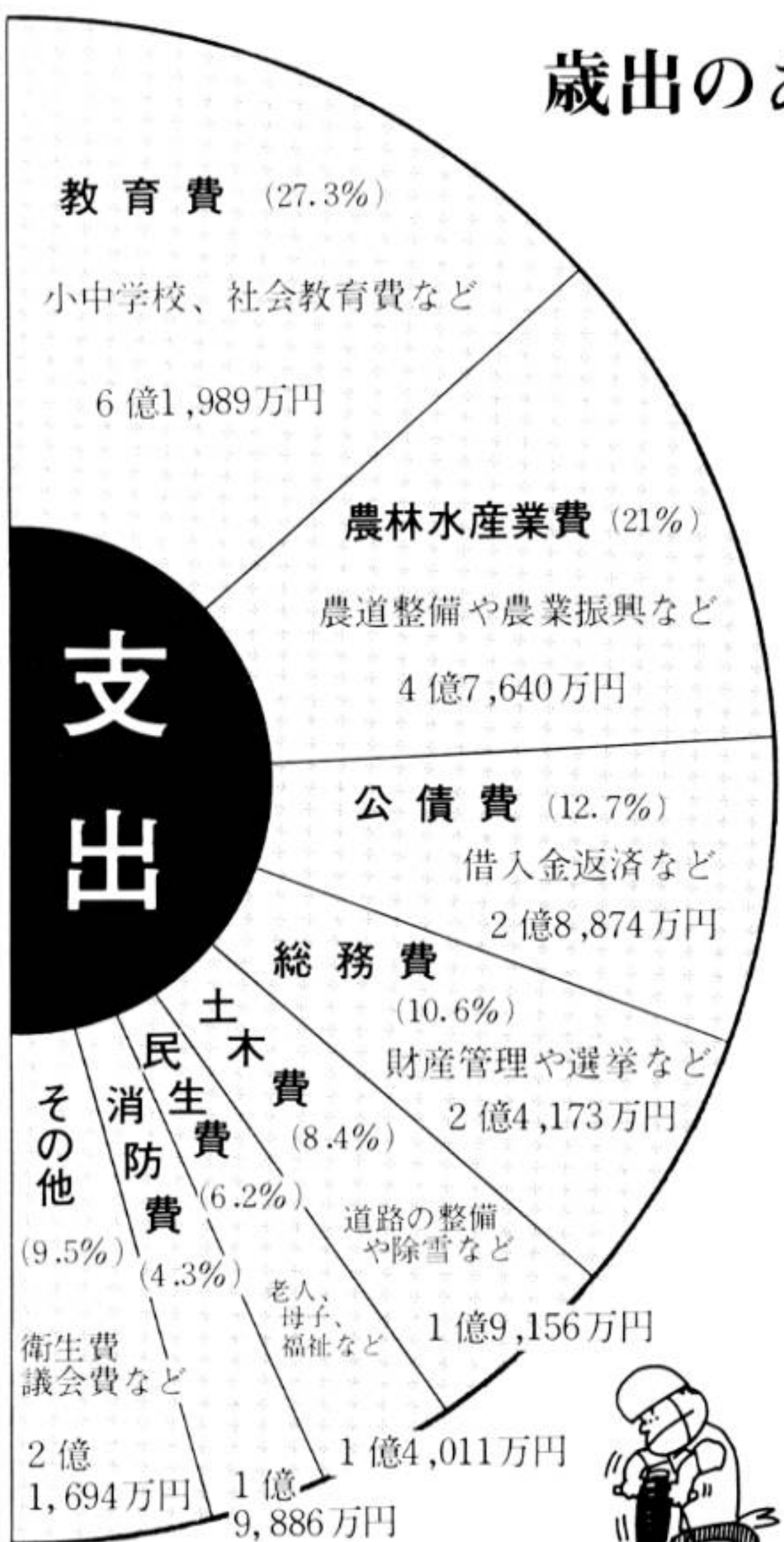
昭和58年度の町政は、前年度同様、きびしい国の緊縮型予算での財政運営でしたが、執行にあたっては、国や県の諸制度を積極的に活用し、効率的な財源の配分に努め、生産基盤や交通網、生活環境の整備、企業誘致、福祉・教育の充実など、魅力ある町づくりを進めてきました。

この結果、一般会計では歳入23億 6,586万円、歳出では22億 7,423万円で、差し引き 9,163万円の黒字となりました。

今号では、これら決算のあらましについて述べてみたいと思います。

歳出のあらまし

一般会計



昭和58年度の一般会計歳出は、前年度より2・3%、5,545万円少ない22億7,423万円となりました。

その中でトップは、教育費の6億1,989万円で、全体の27・3%を占めています。このうち高瀬小建築に4億2,220万円を費やしています。

次は農林水産業費の21%、4億7,640万円で、これは農道の新設や改良等に使われ

ました。

これに次いでいるのが公債費で、歳入にある町債（借入金）の元金と利子を返済するのに使われました。

性質別（下表）でみると、約44%にあたる10億円以上が、普通建設事業、いわゆる住み良い町づくりに使われたことがわかります。



一般会計 町民1人当り額

使われたお金	368,357円
納めた税	29,568円
※人口は年度末の6,174人とした	

1人当り町税のなかみ

町民税	9,835円
固定資産税	14,816円
軽自動車税	779円
町たばこ消費税	2,573円
電気税	1,359円
木材引取税	206円

31.5%		12.2%	16.7%	12.7%	11.1%	7.8%	8.0%
普通建設事業	補助事業	単独事業	人件費	公債費	補助費等	物件費	その他
7億2,819万円	2億7,761万円	3億7,894万円	2億8,874万円	2億5,347万円	1億7,642万円	1億7,086万円	

性質別
歳出の状況



昭和58年度 町の家計簿

町づくりに



歳入のあらまし

町の財産

▶ 土地	7,404,731㎡
(うち山林)	1,292,830㎡
▶ 建物	33,601㎡
▶ 有価証券	1,493千円
▶ 出資による権利	8,430千円
▶ 自動車・ブルドーザー等	36台
▶ 基金	399,061千円
・ 財政調整基金	215,521千円
・ 国保財政調整基金	116,002千円
・ 簡易水道財政調整基金	20,728千円
・ 土地開発基金	20,000千円
・ 高額療養費貸付金	2,000千円
・ 中小企業振興基金	6,000千円
・ 奨学資金貸付基金	1,010千円
・ 国民年金印紙購入基金	400千円
・ 高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金	17,400千円

公債の現在高

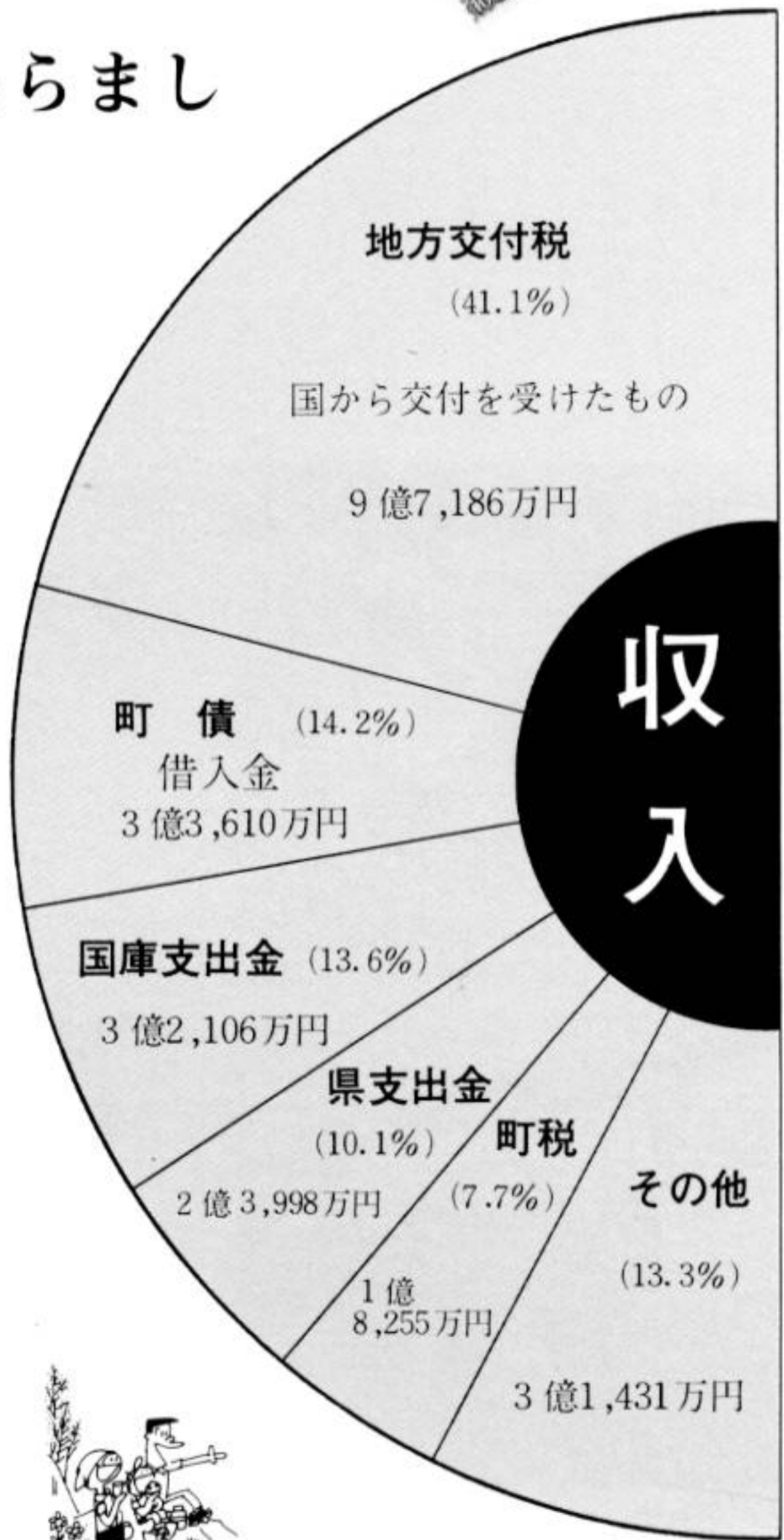
▶ 一般会計の現在高	2,293,431千円
・ 一般単独事業債	322,443千円
・ 義務教育施設整備事業債	171,519千円
・ 辺地対策事業債	5,507千円
・ 過疎対策事業債	965,625千円
・ 公有林整備事業債	170,116千円
・ 草地開発事業債	23,600千円
・ 災害復旧事業債	104,628千円
・ 秋田県貸付金	61,896千円
・ 厚生福祉施設整備事業債	49,168千円
・ 財政対策債	11,200千円
・ 財源対策債	355,729千円
・ 一般公共債	27,800千円
・ 転貸債	12,500千円
・ 簡易水道事業債	11,700千円
▶ 特別会計の現在高	479,181千円
・ 過疎対策事業債	102,475千円
・ 簡易水道事業債	376,706千円

歳入は前年度より1・9%、4、681万円少ない23億6、586万円となりました。歳入でいちばん多くを占める地方交付税は、9億7、186万円の41・1%で、前年度より0・9%減と、きびしい国の財政事情を反映したものとなっています。

こうした中で、町民のニーズに対応した行政施策の実施のため、国庫の諸制度を積極的

に取り入れました。このため国庫支出金は、23・7%の5億6、104万円で、町債の占める割合も14・2%の3億3、610万円と高くなっています。

また町の唯一の自主財源である町税は1億8、255万円で、全体のわずか7・7%となっています。



項 目	収 入	支 出	差 引
国民健康保険	408,163	389,356	18,807
老人保健医療事業	212,583	199,240	13,343
黒 淵 診 療 所	2,134	2,118	16
簡 易 水 道 事 業	390,897	386,135	4,762
大平スキー場運営費	13,158	8,661	4,497
玉 米 財 産 区	2,602	610	1,992

特別会計の状況

(単位: 千円)

町には一般会計とは別に6つの特別会計があります。これらの会計も、それぞれ黒字決算となり、収支のバランスがとられています。

ま ち の 話 題

豊作だぞ!! ぼくらの水田

八塩小・大琴小が稲刈り

稲刈りがたけなわの先月下旬、八塩小と大琴小で、子どもたちが自分たちの手で植えた稲の刈り取りをしました。

「手を刈るなよ!」「もっと上をつかめ!」という先生の注意を耳に、慣れない手つきながらも真剣な目なごしで、太い稲株に鎌をあてていました。

刈り取った稲穂は予想以上に多く、子どもながらに豊作の喜びを味わっていました。

同校では、このモミを農家に精米してもらい、11月ごろに行う「もちつき大会」に使うことにしています。



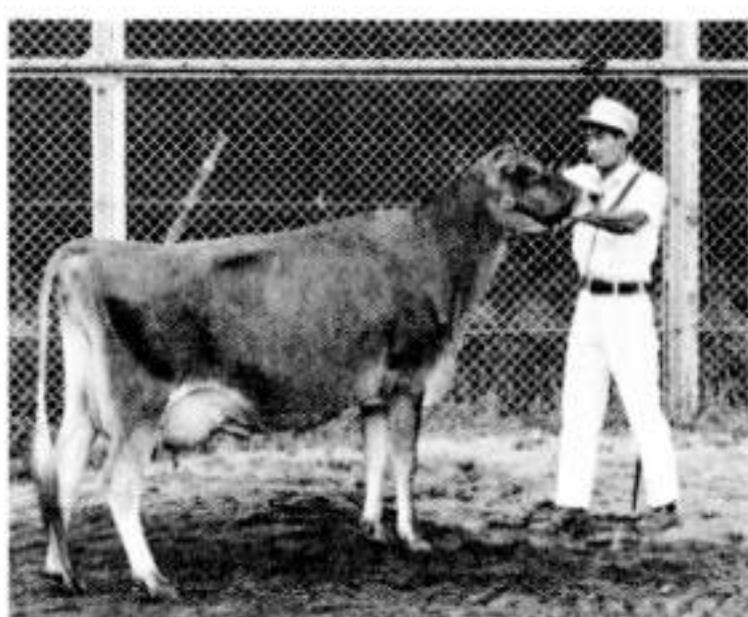
子どもながらに豊作を感じ取る(八塩小)



ハサがけだってできますよ(大琴小)



受賞の喜びを町長に報告する畑山さん(中央)



日本一になった、ウィローロマンズミルキーソフィア号

全日本
ジャージー牛
共進会で
名誉賞

克司さんの ジャージー牛のが日本一に

ジャージー牛が日本に本格導入されてから30年を迎えたことを記念して、岡山県を会場に開かれた「全日本ジャージー牛共進会」(日本ジャージー登録協会主催)に、本町畑山克司さん(島)所有「ウィローロマンズミルキーソフィア号」

を出陳。第2部(未經産牛、生後18か月以上26か月未満)で、日本一を認めた、優等賞一席(名誉賞)を獲得しました。

同共進会は、先月14日から3日間、わたって行われ、ジャージー

牛飼育の盛んな岡山、秋田をはじめ、6県から61頭が出陳、外観、足腰の強さ、乳房の形状、乳用牛の特質などを競い合いました。

なお、本町のほか矢島町からも出陳し、第4部で同賞を獲得。秋田県酪農家の飼育レベルが全国的に高く評価されました。

今回の受賞で、町はじめ関係者は、低迷気味な畜産経営に対し今後の励みになると喜んでいきます。

洋子さん(大琴小6年)が優勝

郡市小学校卓球大会

第10回本荘市由利郡小学校卓球大会が9月29日、本荘市立北中学校で行われました。

本町からは、大琴小と高瀬小の2校が出場。女子個人の部で、大琴小6年の鈴木洋子さんがみごと優勝のトロフィを手にしました。

また、男子個人の部では、同校6年の武田真人くんが3位となり、いずれも市郡内の強豪を相手によく頑張りました。

団体選では男子が1回戦、女子が2回戦で、優勝、準優勝校と対戦、惜しくも上位入賞を果たすことはできませんでした。



3位になった大琴小6年 武田真人くん



優勝した大琴小6年 鈴木洋子さん

今野・小松両君が 県民マラソンで 入賞

去る9月24日に雄和町で開かれた、空港開港記念第3回県民マラソン大会に、本町からも数名が参加、このうち今野浩一君(蔵新田・大沼組)が、男子20歳(29歳以下)の部で第2位(完走者18名)に、小松和明君(宮の前・東中3年)が、男子5歳(中学生の部)で第4位(完走者49名)に入賞しました。

両君の健闘を心から讃えたいと思います。

なお、この大会は、毎年開催されるものですので、今後、多数の町民のみなさんの参加を期待します。

青色申告会

佐藤さんが
全国青申総連
から表彰

本荘市青色申告会連合会が、創立30周年を迎え、このたび本荘、ホテルアイリスで記念式典を行いました。

この席上、本町青色申告会々長の佐藤力さん(宇戸坂)が、全国青色申告会総連会長表彰を受けました。また、青色申告会発展に寄与したとして、石綿国雄さん(大琴)、小番銚平さん(家の下)、小野一二さん(須郷田)が、本荘市青色申告会連合会長より表彰を受けました。おめでとうございました。

ねんきん^③ つうしん

サラリーマンの奥さんへ
任意加入は
今がチャンス!

現在、わが国ではサラリーマンの奥さんだけは無業でも国民年金の加入を義務づけられておらず、任意加入の対象者となっているだけです。

しかし、もし不幸にも奥さんが病気やケガで障害者となったり、高齢で離婚した場合には、なんの年金も受けられないということも起こりえます。このような無年金者にならないために国民年金に任意加入すれば、奥さん個人の年金をもつことができ、将来も安心できます。

世帯から個人中心へ

しかし現在、国民年金の任意加入を認めているため、世帯としての年金水準に不均衡

が生じています。

こういった問題などを解決するための年金法改正案が先の特別国会に提出されましたが、継続審議となり次期通常国会で審議される予定です。この改正案が成立しますと、サラリーマンの奥さんの任意加入制度は廃止され、強制加入となります。強制加入となれば、当然のことながら、今まで任意加入しなかった人も国民年金に入らなければなりません。

必ず得する任意加入

新制度になれば、現在任意加入していた期間が引きつがれますので、任意加入しなかった人は任意加入していた人に比べて、年金額に差がついてきます。

いずれ、任意加入していないサラリーマンの奥さんは国民年金に加入しなければならないのですから、それならば今から任意加入して保険料を少しでも納めておいたほうが絶対得ということです。

まちの話題

芸術・スポーツの秋 各地区で多彩な催し

収穫を目前にひかえた秋の1日、町内各地で多彩な催しが繰り広げられました。

まず9月9日は法内分館が「第7回秋まつり演芸会」を開催。豊作を祈願したみこしや、子どもから老人にいたる各層がバラエティに富んだ歌や踊りを披露。また9月15日には宿分館でも「演芸会」を開催、青年会が主体となった楽しい企画で、「芸術の秋」を色彩しました。

このほかスポーツ行事も各地区で行われ、9月15日には老方分館

観客を笑いの渦に巻き込んだ、若妻会による寸劇(法内分館)



阿部伸喜さん(野田)撮影

汗した後のイモノコ汁の味は格別(老方分館)



大坂イヨさん(下通)撮影

が「第9回歩こう会」を開催。この日は60人余りが参加し、上里から太平山(テレビ塔)までの約4キロを汗して歩き、頂上からのけしきをながめながら、イモノコ汁に舌づつみを打ちました。

豪雨

8月下旬から9月上旬に本町を襲った集中豪雨は、収穫を目前にした稲や、道路などに大きな被害をもたらしました。

被害は、町道27か所、農道3か所、林道4か所、河川39か所のほか、河川からの冠水や土砂の流出で、水路9か所、頭首工2か所、耕地の畦畔決壊等45か所 886ha、冠水田31.3ha、稲の倒伏70ha、同半倒伏60haと、5年ぶりの豊作に期待をかけていた農家の人たちに大きなショックを与えました。

被害総額は、2億1千万円を超すものと見込まれ、現在急ピッチで復旧作業が進められています。



(法内・稲子沢)

小金色に実り、豊作を約束していた稲穂は、激しい鉄砲水に押し倒され、見るも無残な姿と化した

豊作をうばう 被害総額は2億1千万超す



(祝沢)

豪雨は地上で流水となり、容赦なく土砂をえぐりとっていった

秋の運動会さかん



「宇宙戦艦ヤマト」のメロディにのって、すさまじい戦いが行われた騎馬戦。(高瀬小)

スポーツの秋……
先月、あちこちで運動会が行われました。その中で、新しくできたグラウンドで行った高瀬小と、永慶・みどりの両保育園の運動会をアルバムにおさめてみました。



パン食い競争ならぬ「せんべいの早取り競争」(みどり)



この日は雨のため室内で……ボールの下にならないでね(永慶)

阿部重雄さん(蔵新田)撮影

“水は生命の源、

—水道工事を終えて—



町長の談話室

島山亮二郎

東由利水道拡張工事がこのたび完工し、町中心部の水道の悩みは、一応解決した。

“水は生命の源”といわれる。日本では、かつて「水は足下にあり」といわれた。足元さえ掘れば、どこでもよい水が得られるという……表現である。

そして、「湯水のごとく使う」と言えば、無駄使いの代名詞でさえあった。

今、水は、緑の自然とともに、文化に汚染される時代となった。私たちが、日常かかわっている水は、空気とともに生きるためになくてはならないもの——生命の源である。

また、水は、生活用水、農業用水、工業用水、発電用水等、衣食住すべての生活にかかわっている。この水に共通していえることは、「もっと水を大切に——」ということではないだろうか。

エネルギーとしての、水の価値はますます高まっている。今年の夏は、猛暑が続いただけに、水のありがたさを知り、もう一度暮らしの中の水について考えさせられた。

そのような時に、東由利水道拡張工事を無事に終えることができ、ホッとしている。

山あいの町東由利でも、水道がないと生活に困るようになった。それは、文化生活の歴史の流れに

沿うもの……あたりまえのことである。

このような時代の流れの中で、まだ六郷町は、各家々が井戸を掘って地下水を生活用水にしている恵まれた町。水を買って使う生活を知らないという。湧き水をふんだんに使い、ほんとうの清水を飲んだ生活である。うらやましい限り。しかし、最近涸れる清水もふえてきているといわれる。

学者によると、地下水というのは、浸みこんだ雨水がすぐ出るのではなく、五百年も地中にあつて出てくるという。つまり、徳川以前前のロマンを秘めた水が出てくることとなり、これを今飲んでいっていることになる。

六郷町の人たちは幸せ者である。わが町では、水道拡張工事の完工に伴って水道料金が高くなり、生活負担も大きくなった。文化生活をするということは、金がかかるということである。

何はともあれ、毎日使っている水道の水。これは、買って飲んでいけるものであることを忘れずに大切にしたいものである。

もう一度、暮らしの中の水について考えて、水を大切に使い、そして生活排水も、公害にならないように、きれいにし、自然の環境の中にもどしてやりたいものである。

民話・その6

あ ずき

石田坂橋の小豆とき



むかしむかし、蔵新田の石田坂橋の下に1びきの妖怪がすんでいました。

暗い夜この橋を通ると、ザックザックと小豆をとくような音がするので、通行人がびくびくして川へ落ちることもたびたびありました。

村びとは、この妖怪を「石田坂橋の小豆とき」とよんでいました。

橋向いの田んぼで働いている村びとは、夕方になると、暗くなるのを恐れ、いそいそと家へ帰るのでした。

ある晩のこと、元気のいい蔵新田部落の太次平さんは、妖怪の好きな小魚をもって、すみかと思われる橋の下に出かけました。

河鹿瀬とよばれる川の水面には、おぼろ月夜がうつすらと映し出され、妖怪を待つ太次平さんの眠けをさそっていました。

どのくらいの時刻が過ぎたのか、太次平さんがうとうとし始めたころ、突然暗い闇の中から、「ザック、ザック」と、なんとも不気味な音が聞こえてき

ます。

一瞬身ぶるいを感じながらも、目をこらえて見張る太次平さんです。しばらくすると、川岸の藪の中から妖怪「小豆とき」が姿を現わしました。ところが、なんとそれは、1びきの年老いた「てん」でした。

太次平さんは、「気味の悪い音をたてて、人間をたぶらかすのもいいかげんにしろ」と強く叱りました。

「てん」は、「川には食べる魚が少なくなり、夜になると腹の虫が泣きさわぐので……」と悲しい声でいいます。情け深い太次平さんは、早速持ってきた小魚をやり、「川魚なら黒沢小川に行くとたくさんいるから、そっちにすみかをかえた方がよい」とおしえてやりました。

その後、「小豆とき」のうわさはすっかり途絶え、村びとも夕方遅くまで働くようになりました。

こうしたさわぎも忘れたある年の春のことです。村むらでは「山焼き」が始まり、太次平さんも部落のみんなと一緒に、黒沢の野山へ出かけました。そして、春の日ざしですっかり乾いた枯れ草に火をつ

けました。

ところが運が悪く、風向きが急に変わり、火の勢いも強まって、山はだは火の海となってしまいました。逃げ場を失った太次平さんは、あわてふためいて近くの小川の藪に身をひそめましたが、火は太次平さんをおそうように勢いを強めています。

その時、藪の中から「ザック、ザック」と異様な音が聞こえます。太次平さんの頭をよぎったのは、「石田坂橋の小豆とき」でした。太次平さんと呼んでいるように聞こえる音の方へ藪をかきわけて行くと、大きな穴があり、太次平さんはその中に体をひそめ、ようやくのことで難をのがれました。

やがて火は衰え、穴から出てあたりを見まわした太次平さんは、まっ黒に焼けた山を見てため息をつく

くと、あのときの「小豆とき」のおかげと、そっと手を合わせ、下山するのです。

とっぴんからりの山椒の実

お話しと絵は石渡力造さんによるものです。

雇用保険法改正

雇用保険法の一部が改正されました。主な内容は次のとおりです。

1、失業給付金の給付日数が、年齢区分と被保険者期間によって決定するように改正されました。

2、受給資格者が、給付日数の2分の1以上を残して安定した職業に就いたときに、30日分から120日分の範囲で支給する制度が新設されました。

3、65歳に達した後（高年齢継続被保険者）に離職して安定所に求職申込みしたときは、基本手当に加えて一時金で50日分から150日分の基本手当相当額を支給する制度が新設されました。

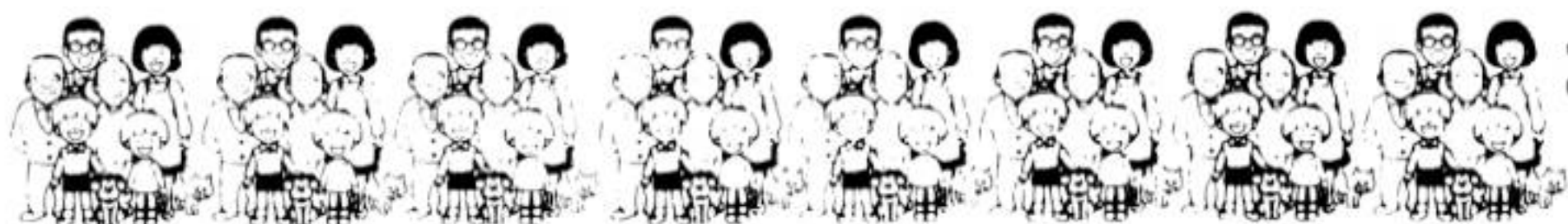
4、基本手当日額の最低額が2、140円から2、570円に、最高額が6、670円から7、330円にそれぞれ引き上げられます。

5、正当な理由がなく自己の都合により離職した受給資格者は、待期間経過後3ヶ月間の給付延長が受けられます。

6、保険料免除の年齢が、明年度以降64歳以上に引き上げられます。ただし、安定所長の認可を受けて被保険者となった65歳以上の者は免除されません。

7、定年退職者等を退職前の事業主のあつ旋により雇用した事業主に対して、「定年退職者等雇用促進助成金」制度が新設されました。

詳細については、本荘公共職業安定所におたずねください。



みんなのひろば

秋田信英です



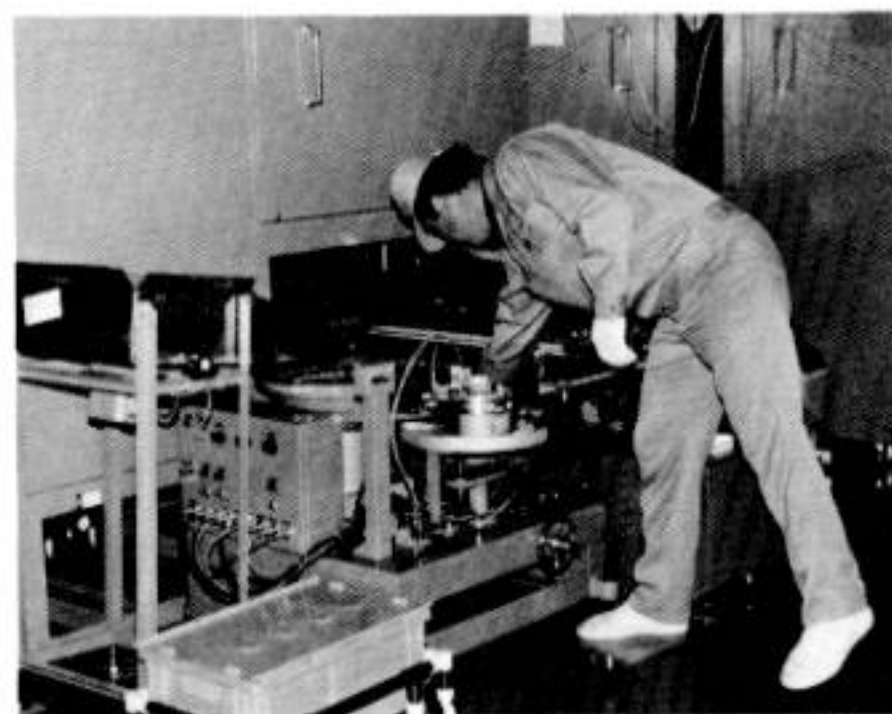
秋田信英(株)
白鳥専務

お世話になります

工場見学にお出ください

喜んでいただける企業にしようと思
張り切っております。

現在第1次計画をスタートさせ
73名の社員が業務に励んでおりま
すが、本社の技術指導員以外は全



最新鋭の機械を備え、3交替で
のフル操業をしております。

ミヨウガの田楽

でんがく

今ごろの季節になると、串に刺
したミヨウガをいろいろに並べて焼
いている母の姿を思い出します。

遠藤ヨコさん

小倉

ふるさとの味



- (1) ミヨウガを3、4個ずつ串に
刺す。
- (2) みそ、砂糖、酒、化学調味料
を合わせ、練りみそを作る。
- (3) フライパンを熱してサラダ油
を入れ、①を並べて両面がしん
なりするまでゆすりながら焼く。

私は、母から習った「ミヨウガ
の田楽」を紹介します。

《材料》 ミヨウガ、500g
お酒、小さじ2・みそ、砂糖、そ
れぞれ大さじ2・サラダ油、大さ
じ2・化学調味料少々・串適宜

《作り方》

善意ありがとう

*

本町杉森出身の農学博士、阿部
廣雄氏（東京都在住）が、町の教
育振興に…と、現金5万円を寄付
されました。町ではさっそく奨学
資金貸付基金に繰り入れ役立てて
いくことにしています。

で東由利町の若者です。

今後の計画として……

60年2月からの増産、増員計画。

60年6月完成予定の第2棟の増産、
増員計画……

を進めており、更に多くの人に同
僚となつていただける日を楽しま
しにしております。

さて、来る10月27日には県知事
さん、町長さん始め、多くの方々
の御臨席をいただき、竣工式を取
り行う運びとなりました。この
式典を起点として大きく飛躍する
秋田信英に育て、皆様方の御期待
にお応えしたいと考えております。
尚、翌日10月28日(日)は町の皆様
方に会社内外の御案内を計画して
おりますので、是非お出掛け下さ
いますよう、御案内申し上げます。

私の赤ちゃん

③



長谷山未央ちゃん 湯出野
58・9・28生まれ
久志さんと保子さんの長女

未来に希望をもち、周りの
人たちに好かれて育ってほしい
と、お父さんの久志さんが命
名したそうです。動物が大好
きだという未央ちゃんは先月
1歳の誕生日をむかえました。
「夏の暑さにもまけない丈
夫な子です。いつまでも元気
でね……」とおばあちゃん。

われらちびっこ派

③

今月の「ちびっこ」は、
永慶保育園「月組」からの
登場です。
テーマ おおきくなったら
なにになりたいの

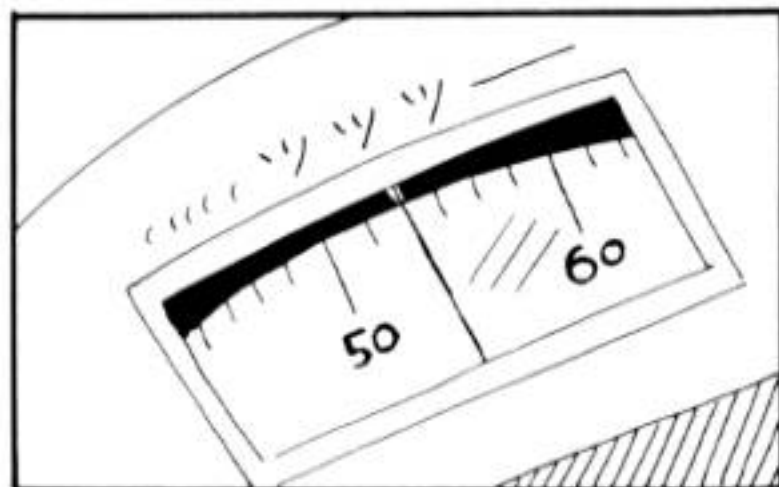


くどう さゆりちゃん
(6さい・たかむら)

わたしは、まっ
だせいこみたいな
かしゆになつて、
ごうひろみとけっ
こしたい。

さわやか 君

西村 宗



ヤングレポート ⑤

あどけなさの中に、しっかりとした性格が感じとられる女でした。

佐々木喜一さん(大琴)の二女で、父母との3人暮らし。現在、英電産業(大琴)に臨時で勤めていますが、つい最近までは本荘市のファミリーデパートで店員をしていたとか。

休日にはどんなことしてますか……映画を見に行ったり、買物をしたり、喫茶店に入ったり……

この町のいい所は……自然に恵まれていることです。休みの日に遊びにいけるような公園があればもっとステキだと思います。

この町に嫁ぐ気はありますか……私の理想にあった人がいればいつでもお嫁にいきます。

理想の男性とは……頼りがいがある、やさしい人。スポーツマンタイプの人がいいですね……とはずかしそうに話してくれました。

佐々木伊佐子さん
大琴(20歳)

39・6・3生まれ



次回はみどり保育園「ひまわり組」のちびっこが登場します。



わたしはあなうんさあになつて、まいにちてれびにでたいな。



おの ともきくん
(6さい・なかどおり)

今回は袖山出身の境田農夫也さん(52歳)からお便りをいただきました。

ふるさとへの便り ④



境田さん

去る9月1日に行われました町制施行10周年、両村合併30年の意義深い記念式典に、御招待頂きありがとうございます。当日は、遠藤副会長と共に出席する機会を得ました事、大変光栄に思っています。式典におきましては、畠山町長の21世紀に向けての町政のあり方抱負等、真に力強いご挨拶から始まり、この式典を新たな出発点として町当局、議会、町

民が一体となって益々住み良い、生き甲斐のある町に発展される事を念じてやみませんでした。上京以来30数年、心は何時も故郷にありながらも、若い頃は仲々帰れませんでしたが、近年は年に1度位帰りますが、当時からの今日の町の移り変りは、時代の流れと共に大きく変貌し、今年2月には、待望の男子型企業誘致が発表され8月から操業が開始されるなど、町当局は勿論の事、町民の意欲的かつ懸命な町作りの姿に接し、深い感銘を覚えました。引き続き行われました祝賀会では、200年余りの伝統があると云われる舟打場青年達の番楽、梅若会の故郷の味、民謡など、どれも本当に懐しく、美酒を酌み交わす程に田舎特有の返杯の光景が、あちこちに見られました。

氏御指導、会員の御協力により、発展の方向に向かっております。12日に行った役員幹事会においては、式典の報告と、かねて計画中の会員相互の親睦を兼ねたバス旅行がこの11月に設定され、多くの会員が参加していただけの様にと話し合いが行われ準備を重ねている状況です。故郷を離れた者の、心のより所である東由利町と、我々東由利会々員が太いパイプで結ばれる様、交流を更に深めていきたいと考えて居ります。(境田さんのお住い▼東京都品川区西五反田6-15-25)

市民の声を市政に!

町長の面会日今月22日

今月の本だな

▶宿題くふう工作▶科学の質問箱▶大きな森の小さな家▶農場の少年▶大草原の小さな家▶プラムクリークの土手で▶シルバーレイクの岸辺▶長い冬▶大草原の小さな町▶はじめの四年間▶わが家への道▶大きな犬と小さなぼく▶しあわせまで三万キロ▶ぼくのクーリヤ▶満州の少国民戦記▶だれも知らない小さな国▶豆つぶほどの小さな犬▶星から落ちた小さな人▶小さな国のつづきの話▶本荘由利新風土記▶秋田美人の謎▶これからの女はどう生きるか▶たべもの事始▶日本の食生活全集▶午後のおそい客▶歴史の群像第2回▶写真記録昭和の歴史

秋の「行政相談」週間

10月14日
から20日

次により、行政相談が行われます。道路、河川、年金、保険、悪臭、騒音、社会福祉、農地などの、行政への苦情、要望を気軽に相談ください。

本荘・由利地区が今年「障害者福祉都市」の指定を国から受けたことを契機に、次により標語を募集します。

応募要領 1人1点とし、

「福祉のこころを育てる」標語募集

相談員は阿部寅静さん(蔵)です。(TEL 69-3114)

町発明工夫展へ

出品を!

東由利発明同好会(大日向貞弘会長)では、第11回東由利発明工夫展(11月4、5日開催)への出品を次により募集しています。

出品申込 10/30まで
作品搬入 11/2まで
場所 有隣館

作品は、創意、工夫がなされたもので、他のマネや極端に経費をかけたものでないこと。

事務局・阿部重雄さん (69)2256



広報にのっている写真を
ほしい方に差し上げます

今月の行事

- 9日・東由利地区県営ほ場整備竣工式
- 11日・ことぶき大学講演会
- 12日・インフルエンザ予防接種
- 13日・妊娠届出日、妊婦健康相談
- 17日~19日・狂犬病予防注射
- 20日・全町マラソン、奥羽横断駅伝
- 23日・3か月児クリニック
- 24日・インフルエンザ予防接種
- 25日・農業委員会
- 27日・秋田信英(株)竣工式
- 29日・子宮ガン検診
- 30日・住吉地区婦人学級
- 31日・子宮ガン検診

家屋調査を10月15日から11月上旬にかけて行います。ご協力を。

テレフォンサービス(69)2211

広報ひがしゆり三五五号

昭和五十九年十月一日発行

印刷・KK本間印刷所

町の二統計 9月(8/1~8/31)

●人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,063人 (9)	●出生 4人 (57)
・女 3,126人 (1)	●死亡 2人 (35)
・計 6,189人 (10)	●結婚 3組 (15)
●世帯数 1,425世帯 (1)	●離婚 2組 (5)
●ゴミ処理量.....	37 t (242)
●火災.....	0 件 (0)
●救急車出動回数.....	11 件 (71)
●交通事故.....	3 件 (9)
●交通死亡事故「0」継続日数	1,538日
●総合開発センター「有隣館」利用者数	1,470人 (10,923)
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	629人 (4,266)

戸箱の窓口

(8/21~8/20届出・敬称略)

うぶ声



佐藤 桐生 (男) 謙・長男 館西
長谷山 智 (男) 栄・二男 地下の沢
長谷山 洋一 (男) 肇・長男 石高
小松田 友樹 (男) 三郎・二男 泡ノ瀬
佐藤 孝太 (男) 太智雄・長男 向田

結婚

遠藤 辰雄 大田 野田
渡辺 則子 大田 琴代
大日向 健男 雄物川町
高野 与志子 上里
小野 弥悦郎 本莊市
阿部 美喜子 中通
小松 昌英 仁賀保町
菊地 紀子 羽後町
佐野 芳雄 時雨山
佐藤 郁子

おくやみ

大場 サキ (62 六治郎・妻) 久保
高橋 キヨミ (69 勇蔵・妻) 山崎



わたしたちは 赤い羽根共同募金
10月1日~12月31日
やさしさを集めます